

平成 16 年 3 月期 第 1 四半期業績の概況 (連結)

平成 15 年 8 月 21 日

上場会社名 トランスコスモス株式会社

(コード番号 :9715 東証第 1 部)

(URL <http://www.trans-cosmos.co.jp/>)

代表者 代表取締役社長 奥田 昌孝

問合せ先 経理財務本部長 荒木 正敏

(TEL:(03)- 3586- 2880)

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における : 無

認識の方法との相違の有無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成 16 年 3 月期第 1 四半期の業績概況 (平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 15 年 6 月 30 日)

(1) 経営成績 (連結) の進捗状況

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期) 純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
16 年 3 月期第 1 四半期	18,036	33	532	204
(参考) 15 年 3 月期	71,072 1.2	8,298	9,954	9,898

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期(当期) 純利益
	円 銭	円 銭
16 年 3 月期第 1 四半期	8.37	
(参考) 15 年 3 月期	405.75	

(注) 四半期業績開示は当第 1 四半期より実施しておりますので、前年同四半期の実績及び増減率につきましては、記載しておりません。

売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同期比増減率であります。

[経営成績 (連結) の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 1 四半期のわが国経済は、株価の持ち直しなど一部に改善の兆候が見られるものの、個人消費の低迷や厳しい雇用環境等、依然として厳しい状況が続いております。

当社におきましても、前期に引き続きお客様企業におけるコスト削減や競合会社との価格競争等の影響による受注単価の下落傾向は続いておりますが、情報サービス事業の主力サービスであるマーケティングチェーンマネジメント事業を中心に新規受注が増えており、開発サービス事業においても自動車産業を中心に設計支援業務の受注が好調であったことから売上高は堅調に推移しております。

利益面におきましては、当社の事業特性上、4月に採用した新入社員が 100%稼働するのは第 2 四半期以降という要因があるため、第 1 四半期は他の四半期と比較すると相対的に業績は低い傾向にありますが、前期に引き続きコスト削減策や営業力の強化を行った結果、情報サービス事業において 8.9%の営業利益率を確保することができ、ベンチャーキャピタル事業における赤字幅も大幅に縮小した結果、四半期ベースで黒字転換することができました。

以上のような状況のもと、当第 1 四半期の業績は、売上高 18,036 百万円、営業利益 33 百万円、経常利益 532 百万円、四半期純利益 204 百万円となりました。

(2) 財政状態 (連結) の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり 株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
16 年 3 月期第 1 四半期	64,790	49,725	76.7	2,038.24
(参考) 15 年 3 月期	64,760	49,549	76.5	2,031.03

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
16年3月期第1四半期	百万円 1,178	百万円 105	百万円 21	百万円 16,034
(参考)15年3月期	939	498	1,162	14,836

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

資産、負債及び資本

当第1四半期末の総資産は、64,790百万円となり、前期末に比較して29百万円増加いたしました。増減の主な内容は以下のとおりであります。売上債権の回収等に伴い、現金及び預金が1,353百万円増加した事等に伴い、流動資産が410百万円増加いたしました。減価償却221百万円、投資有価証券の評価損128百万円を計上した事に伴い、固定資産は381百万円の減少となりました。株主資本は、前期末に比較して、175百万円増加し、株主資本比率は76.7%となりました。

キャッシュ・フローの状況

営業活動におきましては、1,178百万円の資金を得ました。

投資活動におきましては、投資有価証券の売却による収入463百万円、有形固定資産取得による支出48百万円、無形固定資産取得による支出82百万円、関係会社株式取得による支出120百万円等により、105百万円の資金を得ました。

財務活動におきましては、短期借入金の返済等により、21百万円の資金を使用いたしました。

以上の結果、現金及び現金同等物の第1四半期末残高は、前期末に比較して1,197百万円増加し、16,034百万円となりました。

(参考)四半期個別経営成績等の概況(平成15年4月1日～平成15年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
16年3月期第1四半期	百万円 14,945	百万円 707	百万円 927	百万円 347

	総資産	株主資本
16年3月期第1四半期	百万円 61,683	百万円 52,217

3.平成16年3月期の連結業績予想(平成15年4月1日～平成16年3月31日)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり予 想当期純利益
中間期	百万円 34,800	百万円 250	百万円 300	円 銭 12.30
通期	72,500	2,850	800	32.79

[業績予想に関する定性的情報等]

第2四半期に入り、わが国の経済環境は、株価の上昇や米国経済の回復基調から変化の兆しはみられるとされておりますが、今後の株価・長期金利や海外経済の動向には引き続き留意する必要があり、依然として先行き不透明感は拭いきれず、今後も予断を許さない状況が続くものと思われまます。

このような状況の中で当社の第1四半期業績は、おおむね計画を上回るペースで推移しておりますが、中間期及び通期の業績につきましては、現時点では依然先行き不透明な状況であることから当初計画どおりといたします。

(参考)平成 16 年 3 月期の個別業績予想(平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 3 月 31 日)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり年間予想配当金		
				中間	期末	
	百万円	百万円	百万円	円 銭	円 銭	円 銭
中間期	28,300	1,150	500			
通 期	59,100	4,100	1,600		30.00	30.00

なお、上記の予想数値は、業界の動向、お客様企業の状況、その他現時点で入手可能な情報による判断及び仮定により算出しております。従いまして、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における内外の状況変化等により、実際の数値と異なる場合がありますのでご承知おきください。

以 上